

# 主基齋田と道路

福岡縣土末課長 坂本一平

## 主基齋田地方福岡縣に勅定せらる

今秋京都に於て行はせらるゝ御大禮の諸儀式中 聖上御

親察の下に十一月十四日夜より翌十五日早朝に亘つて行は  
るゝ大嘗祭に悠紀、主基の兩殿に供御する新穀を作る齋田

點定の儀が去る二月五日宮中神殿の大前に於て取行はれ計  
らずも我が福岡縣が主基地方たる光榮を擔ふこみになつ  
た。

## 齋田の意義

抑も御即位の大禮は我が國最高の大典であり大嘗祭は皇位繼承の初に方り新穀を供へ皇祖及天神地祇を祭り御親らも之を聞召す盛儀で國家の大祀である。齋田の奉仕者は大田主一人であるけれども縣民を代表し縣民はまた國民を代表し奉仕の赤誠を披瀝し 天皇御親察の御大典に負荷を完了し奉らなければならぬ。而してその責任は全國民の上懸つてをるのであるから單に新穀獻納の手續を運んだ、けでは到底満足が出来ない。

然らば齋田とは如何なるものか云ふに穢を離れて潔く、神聖に奉仕せらるゝ田といふ意味で悠紀云ひ主基云ひいづれも古語で謹慎と清淨の意味を含めたもので斯かる田を何れの所に定むべきかを私の心を以つて決定するわけにゆかぬので齋田點定ミ申し天武の朝より傳はる神祕極りなき龜卜の法に依りいミ鄭重に、正しく神慮を伺ひ定められたるもので悠紀地方の齋田の新穀が悠紀殿の御料に、主基地方の新穀が主基殿の御料になるのであつて以上二つの御殿を大嘗宮ミ稱し悠紀は東に主基は西に建てられ

る爲京都より東及北の國に悠紀、西及南の國に主基齋田が勅定せらるゝ慣例である。

### 齋田奉仕の準備

斯くも神聖なる齋田が本縣に勅定せられ新穀獻進の勅命を拜した以上は苟にも穢に觸れて神慮に悖るが如きこゝがあつてはならない。古來神祇奉仕には身心を祇ひ清むる定であり萬一齋田地方に惡疫が流行したり道路が不完全な爲頻繁に交通事故等を起せば是も亦穢なる。夫には縣民和衷協力萬全を期してこの國民的大使命を果すこゝに盡力しなければならぬ。茲に於て本縣は三月十九日臨時縣會を召集して縣民の何れもが擔ふたこの光榮と責任を完うする爲に諸般の設備を必要としその經費拾貳萬參千餘圓の支出を諮つたこゝころ滿場一致當局の提案を可決せらるゝに至つた。爾來縣當局に於ては齋田事務處理方法を定め一般事務ミ區別し尙事務委員規程を設けて齋田に關する事務を總務部、技術部、工營部、式典部、警衛部、衛生部に分ち夫々

齋田に關する萬端の事務一切を完全に處理し遺漏なきを期するこゝになつたのである。

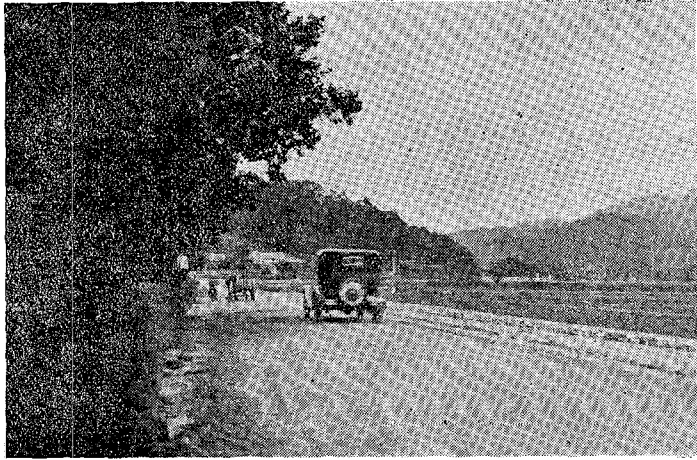
### 主基齋田示達式

さて主基地方として本縣が勅定せられたがその位置は何れの所に定むべきかに就ては、あらゆる條件を具備した候補地を縣下各地より十數箇所撰定し最後に本省の實地調査を仰ぎ早良郡脇山村大字脇山の地を選び奉仕者は同村の石津新一郎氏に決定し三月十五日を以て縣廳正座に於て壯重なる齋田示達式を擧げ栽培する水稻を「照代」と命名せられた。

### 齋田地方及其の附近

早良郡は福岡市の南方に位し東は筑紫郡に西は糸島郡に境し南は背振山脈によつて佐賀縣に隣接し北は殘島、志賀島を擁して博多灣に臨み地勢は南北に長く東西に狭く東、西、南の三面山岳連り室見川に灌漑せられて中部は肥沃な

る耕地をなしてゐる。主基齋田の所在地脇山村は郡の東南



齋田地方及其の附近

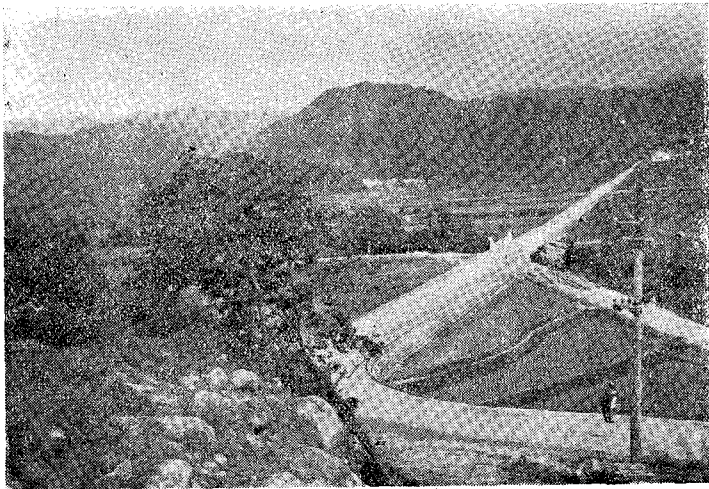
隅に在り福岡市より陸路四里餘筑紫の名山繁の背振山の温

雅なる山容を仰ぎ椎原川の流れ清く風光幽邃一寰を劃するの地戸數四百戸人口二千四百二十二人の純農村である。

### 齋田の設備

齋田は脇山村の中央に位し南より北に向つて自然傾斜をなし其の面積八反五畝四歩周圍は幅一間の、中央縦横に幅一間五分の耕作道を設け周圍道路外側に忌竹を繞らし其の外側に幅一間五分の忌溝を造り又その周圍に幅參間の參道を築き内側に注連繩を引き四隅に墨痕鮮かに大嘗祭主基齋田の標識杭を建て表口に門、背後に齋場が設けられ中央に千木高く聳ゆる古風な神殿及拜殿、兩側に幄舎外に樂舎、手水所、禊齋所等並び立ち四邊はいゞ深嚴なる氣が漲つて居る。又齋田と町村道との間は延長八拾八間幅參間の參道を以つて連絡し路面には總て清淨なる小砂利を敷き詰め警衛所、禊齋所等を設け門外には草書觀測所、自警所、牛舎、堆肥舎等建ちならび附近には氣象觀測所、自警所、神職詰所、女子更衣室、男子更衣室、縣事務所等も新設せら

れ齋場及附屬地を合せ總面積壹町九反四畝貳拾九歩の地を



齋田内地の道路

劃してゐる。

## 主基齋田の行事

齋田は肥料に不淨を用ゐず灌漑水に汚物の混入を忌む、害鳥や害虫の災も防止しなければならないことは勿論である。農具類も新調し奉耕者は男女共品行方正身體強健なる熟練者を選み齋田に對しては日夜監守を怠らぬやうにしてゐる。

齋田示達式の翌日即ち三月十六日には産土神社奉告祭が執行せられ同十八日式場、齋場の清祓式次で二十二日に起工式三十一日には苗代田の水口祭を始めとして四月七日には中祭に屬する地鎮祭同十三日御年祭を擧げ十四日には大祭に屬する祓式が行はれ齋田を祓ひ奉仕者を祓ひ次に大田主石津氏指揮の下に四月二十日には播種の式が行はれ五月五日水口祭を執行し六月五日より三日間に亘り齋田行事中最も重き御田植祭が擧げられた。

秋になり稻の實が熟する頃には勅使が下向せられ神を祭り祝詞を奏して稻穂を拔取るこいふ古式があり、稻が刈取

られ新穀が京都御所内の齋庫に納められる迄には小、中祭に屬する各種の祭典が數十回行はれ何れも古儀を斟酌して壯嚴極まりないものである。

## 齋田を中心とする道路改築

主基齋田勅定せられてより以來脇山村は拜觀者の往復或は視察指導の爲め參集する者夥しく爲めに福岡市との交通は日々股賑を極むるに至つた。然るに齋田地方を貫通する樞要なる道路としては筑紫郡岩戸村山田より脇山村を経て福岡市に至る府縣道山田西新線を主要路線とし外に府縣道熊崎姫ノ濱線福岡佐賀線、福岡神崎線等が附近を貫通してゐるが主要路線たる山田西新線は終點より入部村字一ツ家に至る間は往年改修工事を施行したが一ツ家三郡界間は未改修に屬し其の幅員の如きも一間乃至一間五分の狭小なるものに過ぎず剩へ小笠木峠を初め急勾配、屈曲甚敷しき箇所縮在し到底自動車の自由濶達なる交通は容れられない且齋田を中軸として交通系統を整備する爲には熊崎姫ノ濱線

の未改修部分及びこれと連絡する町村道の改築を施行し更

る町村道の大改築を併せて施行の必要を生じたのである。

### 工營部土木係の活動

工營部土木係に於ては齋田關係の土木事業の外に恰も實行初年度に際會せる重要（産業）府縣道改築計畫中に包含せる前記府縣道の大改築を同時に敢行し通常七ヶ月乃至六ヶ月を要すべき大工事を可及的迅速に工を進め主基齋田の行事中の中心を成す最も重き大祭たる御田植祭當日迄に工事を竣成せしむべく企圖し先づ事務を總務、齋田、府縣道町村道の五班に分擔し三月中に全部の實施設計を終り四月五日を以て工を起し官民眞に和衷協力晝夜兼行奉仕の赤誠によつて幸に五月三十一日全部の改築を竣へたのである。

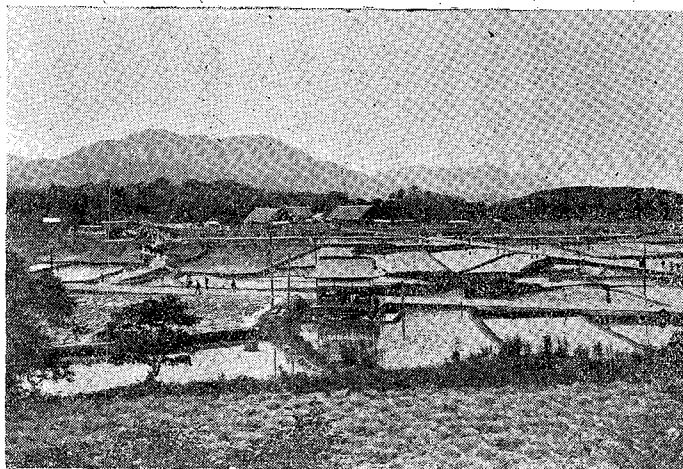
### 道路工事の概要

#### 一 齋田周圍道路

延長 幅員 工費 出役人夫 職工

二七・八間 三〇間 二・七〇圓 一・三六人 三人

に最も樞要なる山田西新線より分岐して齋田參道に連絡す



一同 正面參道

六〇〇 三〇〇 一・二六九 四三三 三人

府 縣 道

一 山田西新線 改築區間 自入部村一ツ家 至脇山村

延長 幅員 工費 出役人夫 職員 馬車

一・六七〇間 三〇〇 五五五圓 五五五五人 五五人 三〇〇臺

一同 線 改築區間 自脇山村 至筑紫郡界

延長 幅員 工費 出役人夫 職員 馬車

一・六四〇間 乃至三・二 一五・二三元圓 四三九人 二六人 一三臺

一 熊崎姪ノ濱線 改築區間 自内野村 至入部村

八七・五間 一・六以上 四・五圓 七九人 五人 一

其他齋田通用道路工事、治水工事等を合せ總工費金八萬

七千四百五十五圓使役人夫延人員一萬五千百七十一人職工

九百八十四人に達した。

### 道路工事に現はれたる國民精神の反映

縣營工事の外町村道の改築、修築等の補助工事を合せ十

漫 錄

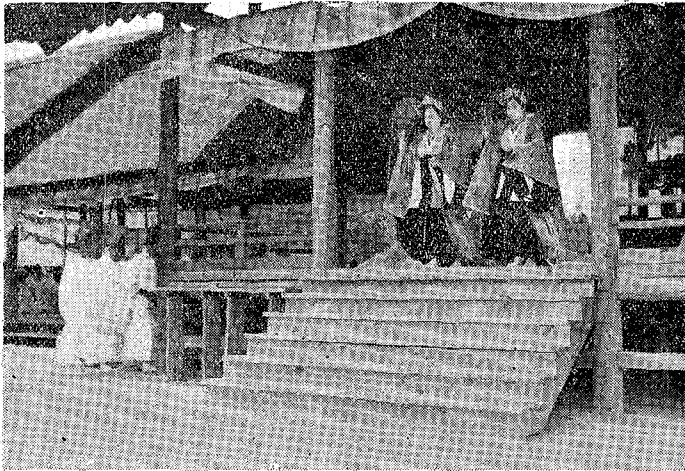
萬圓を越ゆる大工事を一氣可成に竣成せしめたるは沿道町村より青年團、處女會其他各種の團體に至る迄道路工事施行に當り奉仕の赤誠を披瀝し熱心に立働いた結果に外ならない而して多き日には一日四百人を越ゆる人夫が監督員の命令一下眞に手足の如く働いたことは著目に値する然も前記團體員中延七百四十餘人は稼業をすて、寢食を顧みず只只心を込めて奉仕し工事速進の爲に立働かれたのであつて往昔耶馬溪の關門たる彼の有名なる青の洞門を切開くに當り禪海和尚の十年の辛苦漸く認められ附近の人々が我れも我れもこ集ひ寄り洞門開鑿の大業を援けた古事も然こそに忍ばれた。彼と是とは其の内容こそ異にするが同じく道路工事に對し斯くも多數の地方人士の奉仕的精神が遺憾なく發揮せられ岩盤の堀鑿あり小笠木峠の切開あり或は奔流に足場を設けて橋梁を架設する等の難工事を經費を節減して二ヶ月足らずで成功せしめ六月五日より三日間に亙り取行はれた御田植祭の大典執行に交通保安上遺憾なきを期し得たるは國民精神の反映として特筆すべきことと思ふ。

### 御田植祭の盛観

齋田の施設、道路の改築其他諸般の設備滞りなく運ばれ六月五日の佳辰を卜し三日間に亙る最も壯嚴なる御田植祭は内務大臣代理宮崎土木局長農林大臣代理阿部農林次官其他朝野の貴顯多數參列せられ齋田齋場に於て執行せられ次で神さびたうちにも風雅な御田植が行はれた。

抑も御田植祭は齋田行事中の中心的行事であつて最も意義深遠な行事である。而して大祭は午前十時から開始せられ先づ祓行事、大麻行事、鹽水行事、次で神官が五色の幣を打振り「今日の畏き御田植や……」の懸聲勇ましくもまた床しく千古の昔を偲ぶ古式の祈を捧げ田植行事を終れば伶人の奏づる神さびた樂の調につれ緋袴に袴着けた八少女は繪扇を翳して靜々昇殿優雅な舞を舞ひ本式が終り次で白衣に緋袴の少女十人神職十人の調床しい田植舞唄に合せ齋田正面に居並ぶ四十人の早乙女が手振り足躍り等昔よりの此の地方に傳はる郷土色豊かな田植舞を奏進する。早乙

女はいづれも青藍の香ゆかしい久留米緋に淡紅色の博多紅



齋田に於て八乙女舞

絹の玉襷をかけ水色絞の手掛同じ色の脚絆菅笠高くかざし

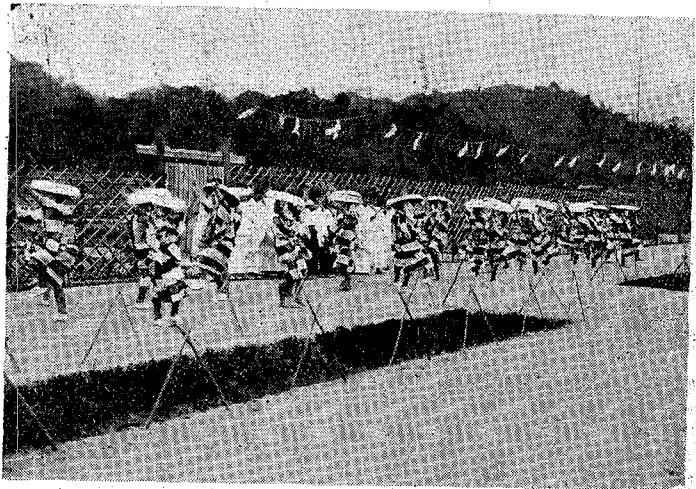


て「早苗さるしづが菅笠古の……」を舞ひ出づるのであつて八少女舞の幽雅、深嚴なるに對しこれはまた素卜典雅の



植田御の女乙早て於に田齋

趣を漂えたものである。新しくして田植舞が終れば着飾つた奉耕牛が索き出され齋主齋藤長官から玉苗七把を大田主に



り踊女乙早り祭植田御

手渡せば大田主は更に奉耕者に渡し田植行事が初められる。田植行事は郷土色そのまゝの「早良脇山主基齋田の、稻は照代玉の苗」いふ田植唄に和しこれもまた手振ゆかし一株々々植えてゆくのであつて宛然繪巻物を繰るが如く展開せられてゆく古典的な嚴かにも優雅な大祭典は風薫る紺碧の天空の下に榮光に満ちた天日を浴びて行はれた。この日曉かけて參集する拜觀者は忽ち齋田地方に通ずる道路に颯々長蛇の如く連り同地方は古今未曾有の殷賑を極めた

### 御田植祭當日の交通整理

齋田を中樞とする道路はいづれも既に改築を終り就中齋田に最も密接關係を有する脇山村と福岡市間を連絡する府縣道山田西新線は御田植祭當日には拜觀者の約八割が本線に集注し雑踏を極むるを豫想し交通整理の必要を生じたるも市街地の主要道路なれば兎も角地方道路に數萬を越ゆる歩行者自動車等が一時に押寄せたなれば如何に道路が整備してを つても到底溢滞なく交通の目的を達せしむるこゝが

出来ないこゝを慮り當日は山田西新線を福岡市よりの往路と指定し歸路を熊崎姪ノ濱線、福岡佐賀線及福岡神崎線と決め幹線にして最も交通量多き山田西新線の路面には白く一線を劃し歩道と車道を區別し警察官を配置し交通整理をなし又齋田周圍の參道は拜觀者人垣を成すを慮り移動的に拜觀せしむるこゝにしたのである。果せる哉御田植祭第一日には歩行拜觀者四萬自動車千九百二十二臺第二日には五萬の歩行拜觀者三二千三百三十二臺の自動車第三日には歩行拜觀者六萬に激増し自動車二千五百六十一臺を算し合計拜觀者十五萬人拜觀者を乗せて往路歸路を巡回往復する自動車の臺數は實に六千八百餘臺に及んだ。然るに前記幹線道路は沿道各町村の在郷軍人團、消防組、青年團等未明より總動員を行ひ自發的に熱誠をこめて道路の掃除をなし警察官の指揮を受け交通整理或は道路面に絶えず撒水をなしたる爲め坦々砥の如く改築せられたる路面を疾走する自動車の後には黄塵の立昇るを見ず混亂もなく雑踏もなく秩序極めて整然として交通が行はれた。尙主婦會處女會等は前記

各團體と相呼應して拜觀者の案内湯茶の接待救護等に甲斐々々しく立働いたので聊かの交通事故もなく斯くも多量なる交通が圓滑に然かも敏速に行はれたことは拜觀者の總てが敬虔な念を捧げた人々の集てあつたことにも起因するが一面又沿道民の道路に對する愛護の觀念が一層深くなつて路面の障害物除却や自發的に掃除をし、撒水をなして交通者に便利を與へた美しき道路公德の賜である。

### 國民精神の訓練と道路

斯の如く個々の公共的觀念が綜合されて皇國の興廢に甚大なる影響を及ぼす國民精神と成るのであつて道路に對する觀念が單なる「利便の爲め」と云ふ程度を越え奉仕の赤誠にまで及んで初めてより良き國民精神の反映がその德行の上に現はれるのであつて人倫の道即ち日常行ふ道に對する心も日常歩く道に對する心もその淵源を尋ねれば「公共的念慮」といふ不可分なる精神に在るのであつて訓練せられたより良き國民によつて良き道路は構築せられ且つ維持

保存せらるゝ、即ち國民精神の訓練は道路に在り、云ふも取て過言でない。現下の重要問題たる思想國難或は又農村の疲弊等々幾多の難局打破に直面せる今日齋田地方に於て斯くも崇高なる奉仕の赤誠が發揮せられ交通衛生其他あらゆる施設が完備し一の理想郷を現出するに至つた、これは前述の如く施設する側と施設を受くる側の地方民が和衷協力その完成に向つて努力したからである。

### 産業御獎勵の大御心

御即位の式を擧ぐるに當り新穀を供へ奉り皇祖及天神地祇を祭る大典を行はせらるゝ、は一面には産業御獎勵の大御心によらせらるゝ、こゝに、拜察せらるゝ、翻つて昨年の縣會に於て議決せられた本縣産業の消長に重大なる影響を有する重要府縣道百八十四里餘に對し約三千萬圓(十ヶ年繼續)の巨費を投じ改築工事實施の第一年度に當り計らずも主基齋田が本縣に勅定せられ茲にその地方を中心として眞先に右の改築工事に着手したる處沿道民の熱烈なる奉仕の赤誠に

よつて前記の如く豫期以上の成果を收め官民協力この大事業遂行の第一歩を最も有意義に力強く踏み出すことが出来たのは祝福してやまない次第である。

交通の便否は直接産業上に影響を及ぼすことを思へば主基齋田の豊穰安穂を祈る心は國全體の豊穰を祈る心でありこの崇高なる愛國の心こそ道路を愛護する心となりそれが行爲の上に現はれては良き道路が造り出されるのである。

### 供納米輸送と道路

九月成熟の候に至れば齋田には勅使が下向せられ拔穂式

が擧げられ稻穂が刈取られ籾の乾燥が終るに搗いて精白し布磨絹磨をかけ一粒選りし更に絹磨をかけ三石の新穀が仕上げられる。此の新穀は唐櫃に納められ停車場に運ばれ新造の祓ひ清めた特別車にて輸送せられ京都御所内の齋庫に納めらるゝのであるが齋田から停車場に至る四里餘の間は道路上を運ばれるのであつて齋田獻穀の深遠なる意義を思へば道路管理者としてもあらゆる方法を講じ奉仕の赤誠を披瀝し潔濟の實を擧げ 天皇御親祭の大典に負荷を完うしなればならない。

## 地方土木主任官會議傍聽の記

枝 川 正 一

地方土木主任官たる各府縣土木部、課長會議は既報の通、

七月十九日から三日間内務省に於て開かれた、毎年恒例の